

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	フランカッツスプレー
製品コード	KKGS
会社名	科研製薬株式会社
住所	東京都文京区本駒込 2 丁目 28 番 8 号
電話番号	03-5977-5035
F A X 番号	03-5977-5136
メールアドレス	ag_rd@kaken.co.jp
整理番号	KPF006-10

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 【物理化学的危険性】

火薬類	区分に該当しない	自然発火性液体	区分に該当しない
可燃性／引火性ガス	区分に該当しない	自然発火性固体	区分に該当しない
可燃性／引火性エアゾール	区分 1	自己発熱性化学品	区分に該当しない
支燃性／酸化性ガス類	区分に該当しない	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない	酸化性液体	区分に該当しない
引火性液体	区分 1	酸化性固体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない	有機過酸化物	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない	金属腐食性物質	区分に該当しない

##### 【健康に対する有害性】

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1 B
特定標的臓器毒性・全身毒性（単回暴露）	区分 1
特定標的臓器毒性・全身毒性（反復暴露）	区分 1
吸引性呼吸器有害性	区分 1

##### 【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】 危険

【危険有害性情報】

- ・極めて引火性の高いエアゾール、液体および蒸気
- ・皮膚刺激
- ・眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・発癌のおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・中枢神経系などの臓器の障害
- ・長期にわたる反復暴露による呼吸器、中枢神経系障害
- ・飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
- ・水生生物に毒性

【注意書き】

[安全対策]

- ・使用前に製品ラベルの注意事項をよく読み使用すること。
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
- ・散布時に喫煙しない。
- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意する。使用後は洗眼する。
- ・散布液や残液が直接排水溝、河川、湖沼、養魚池に流れ込まないように対処する。
- ・作物の殺菌剤の目的のみに使用する。
- ・取扱いは保護具を着用すること。
- ・使用後は手や顔を良く洗うこと。

[保管]

- ・直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。

[廃棄]

- ・内容物または容器を廃棄する場合は、使い切り中のガス抜きを充分行った後、該当法規に従い都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
一般名	ポリオキシシエアゾル

成分	含有量 %	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号		PRTR 法
				化審法	安衛法	
ポリオキシシン D 亜鉛塩	0.55	C <sub>17</sub> H <sub>23</sub> N <sub>5</sub> O <sub>14</sub> ·Zn	146659-78-1			
エチルベンゼン	2.7	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> C <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	100-41-4	(3)-28 (3)-60		第 1 種 53
キシレン	4.0	C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> (CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub>	1330-20-7	(3)-3 (3)-60		第 1 種 80
トルエン	22.3	C <sub>7</sub> H <sub>8</sub>	108-88-3	(3)-2 (3)-60		第 1 種 300
フタル酸ジ-nルマルブチル	2.1	C <sub>6</sub> H <sub>4</sub> (COOC <sub>4</sub> H <sub>9</sub> ) <sub>2</sub>	84-74-2	(3)-1303		第 1 種 354
ジメチルエーテル	38.9	CH <sub>3</sub> OCH <sub>3</sub>	115-10-6	(2)-360		
イソプロピルアルコール	3.3	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O	67-63-0	(2)-207	2-(8)-319	
含水非晶質シリカ	0.6	SiO <sub>2</sub> ·nH <sub>2</sub> O	112926-00-8	(1)-548		
酸化チタン	4.2	TiO <sub>2</sub>	13463-67-7	(1)-558		
セロソルブアセテート	0.4	C <sub>6</sub> H <sub>12</sub> O <sub>3</sub>	111-15-9	(2)-740		
その他溶剤等	20.95					

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸させる。多量に吸入した場合には医療措置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水またはぬるま湯で十分洗い流し、石けんを使って洗浄する。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口に残っているものは、ぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし、被災者に意識のない場合は、ものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 火災時の特定危険有害性 :  
 本剤はジメチルエーテルを含む可燃性エアゾルであり、火災により容器が爆発し飛散するおそれがある。
- 特定の消火方法 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- 消火を行う者の保護 :  
 燃焼または高温により有毒ガスが生成するおそれがあるため、呼吸保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :  
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 :  
 流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法 : 飛散したものを掃き集めて乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて、密閉で

きる空容器に回収し、安全な場所に移す。  
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：取扱いは換気の良い場所で行い、粉塵、ガスのこもりやすい場所では取り扱わない。  
火気厳禁、火気を使用している室内で大量に使用しない。

注意事項：炎や火気の近くで使用しない。

### 保管

適切な保管条件：火気厳禁。

直射日光の当る所や火気、暖房器具等の近くなど温度が 40℃以上となる所に置かない。  
缶の錆を防ぐため、水回りや湿気の多いところには置かない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋外圍場で使用されるものであり、屋内で作業する場合には換気扇の使用や、窓を開けるなどして換気をよくする。

管理濃度：20ppm

許容濃度：

日本産業衛生学会（2008 年版）トルエン：50ppm 188mg/m<sup>3</sup> 皮  
ACGIH（2009 年版） TLV-TWA：20ppm A4；BEI

### 保護具

呼吸用保護具：防塵マスク

手の保護具：保護手袋（ゴム手袋）

眼の保護具：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：作業衣、帽子、保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘稠懸濁液体

色：類白色

引火点：10℃ 火炎の長さ 7.2 ± 0.2 cm 危険物第四類第一石油類

## 10. 安定性及び反応性

安定性：常温・常圧で安定

反応性：可燃性の高圧液化ガスを使用しているので、火気と反応して爆発する。

避けるべき条件：火気、高温

### 11. 有害性情報 エアゾル原液(ポリオキシン D 亜鉛塩 0.55%)

急性毒性：	経口	ラット(♂♀)LD <sub>50</sub>	>5,100mg/kg	[区分に該当しない]
	経皮	ラット(♂♀)LD <sub>50</sub>	>2,040mg/kg	[区分に該当しない]
皮膚刺激性：	ウサギ		刺激性あり	[区分 1]
眼刺激性：	ウサギ		軽度の刺激性	[区分 2 B]
皮膚感作性：	モルモット		感作性あり	[区分 1]

### 12. 環境影響情報 エアゾル原液(ポリオキシン D 亜鉛塩 0.55%)

水生環境有害性 短期（急性） 藻類のデータに基づき区分 2 とした。

水生環境有害性 長期（慢性） 原体の Log Pow=-1.45（23℃、pH3.7）より区分に該当しないとした。

魚毒性	：	コイ	LC <sub>50</sub>	96h	80mg/L
		セスジミジンコ	EC <sub>50</sub>	48h	70mg/L
		藻類	ErC <sub>50</sub>	24-72h	2.29mg/L

### 1.3. 廃棄上の注意

必ず使い切ってから廃棄する。廃棄に際しては、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し中のガスを十分抜ききってから、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。

### 1.4. 輸送上の注意

注意事項：

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国内規制：

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 危規則に定められている運送方法に従う。

国連分類：クラス 2（高圧ガス）

国連番号：1950（エアロゾール類）

### 1.5. 適用法令

農薬取締法 登録番号：第 19040 号

消防法 第四類第一石油類、危険等級Ⅱ

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）第 1 種 53 号：エチルベンゼン（管理番号：第 1 種 53）

第 1 種 80 号：キシレン（管理番号：第 1 種 80）

第 1 種 300 号：トルエン（管理番号：第 1 種 300）

第 1 種 354 号：フタル酸ジブチル（管理番号：第 1 種 354）

労働安全衛生法 2-(8)-319：2-プロパノール

### 1.6. その他の情報

版番号：第 11 版

参考文献：

- 1) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253:2019）日本規格協会（令和元年 5 月 25 日改正）
- 2) GHS に基づく化学品の分類方法（JIS Z 7252:2019）日本規格協会（令和元年 5 月 25 日改正）
- 3) ラベル・製品安全データシート作成実務必携 GHS 対応国内版（2007 年 6 月 化学工業日報社）
- 4) [改訂第 3 版] 緊急時応急措置指針（2009 年 9 月（社）日本化学工業協会）
- 5) 農薬中毒の症状と治療法（1998 年 4 月 農林水産省農産園芸局）  
（1998 年 4 月 農林水産省農産園芸局）
- 6) 化学物質排出把握管理促進法の政令改正について（令和 3 年 10 月 20 日公布）  
経済産業省ホームページ

[https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/prtr/8\\_4.html](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/8_4.html)

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

緊急連絡先：03-5977-5035

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 一般市民専用電話（大 阪）072-727-2499（情報料無料）

365 日 24 時間対応

（つくば）029-852-9999（情報料無料）

365 日 9～21 時対応

医療機関専用有料電話（大 阪）072-726-9923（1 件 2,000 円）

365 日 24 時間対応

（つくば）029-851-9999（1 件 2,000 円）

365 日 9～21 時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。